

2019 年度
第 17 回総会

議 案 書

議事次第

1. 開会宣言
2. 理事長挨拶
3. 議案審議
 - 第一号議案 2018 年度事業報告
 - 第二号議案 2019 年度事業計画
 - 第三号議案 「森ボラ協議会」に係る件
2018 年度事業報告
2019 年度事業計画
 - 第四号議案 理事及び監事選任の件
4. その他
5. 閉会の辞



森の守護神

NPO 北海道森林ボランティア協会
2019 年 5 月 9 日 (木) 15 : 30 ~ 16 : 30
札幌エルプラザ 2F 環境研修室 1, 2

第一号議案 2018 年度事業報告

2018 年度事業報告

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

これまでの育林活動と生態系の保全活動及び環境教育活動が評価されて「第10回さっぽろ環境賞」市長賞を頂きました事を報告します。

16 年目の活動にあたり事業の継続性を念頭に 2018 年度をスタートしました。

2017年に「澄川環境林基本計画」として第4次5か年計画を策定し、目標を踏まえながら2年目の事業を展開しています。

今年度もこの16年間継続している植栽・整理伐を中心とした実践活動と2015年から着手して来た次世代の子供たちに森に親しみをもって貰える教育活動をバランスよく実践して来ました。

森づくりの大切さ・楽しさを子供たちに伝える活動として、第3期親子森林教室は過去2期の経験を生かしながら年間計画に沿って展開しました。又近隣の澄川南小学校との総合的な学習支援は年間カリキュラムに組み入れ、野外授業の場として成果を上げています。

新しい会員の掘り起しとして会員増強委員会を立ち上げました。その狙いは協会の活動内容を多くの市民に知って貰い会員の若返りと増強です。具体的な行動として各種パンフレットを作成し、野幌森林公園道民森づくりフェスタ2018やチカホでのイベントそして話題提供をした各種フォーラムで配布する様にしました。それと並行してホームページ改修委員会を立ち上げ、広い世代に活動内容をリアルタイムに発信が出来る様に運用して行きます。是非リニューアルを終えた森ボラホームページをお尋ねください。

この1年間の活動を以下の通り報告します。現場での延べ活動機会は133機会、延べ参加人数は1,740名でした。内部企画は幹事会、総会、研修旅行等で25機会、延べ参加人数は371名でした。

(3月31日現在の会員数66名)

【札幌市都市環境林】

〔有明第二都市環境林〕機会11回 参加人数91名

森林・山村多面的機能発揮対策事業（以下多面对策事業）の助成により都市環境林にふさわしい健全な森林へ誘導して来ました。多面对策事業の活動内容は第三号議案で報告します。

〔澄川都市環境林〕機会90回 参加人数1,213名

2017年度に作成した第4次5か年計画をベースに2018年度はE地区の活動の継続とB地区の整理伐に入りました。

第7期の国土緑化推進機構緑の募金公募事業（ローソン緑の募金）“札幌市澄川都市環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業”は6月で終了し、7月から第8期をスタートしました。ニセアカシアの萌芽処理は継続しながら、E-1,2区のニセアカシア整理伐で生じたギャップ地を整備して植栽を開始しました。E-3,4区では、整理伐後のギャップ地のボサ処理は終わり、植栽地整備に入りました。E-5区では整理伐の対象立木にマーキングを行い、2,3月で整理伐を完了しました。5月には7回目のローソン森林保全活動に42名の方が参加して針葉樹・広葉樹130本をE-2区で整備したギャップ地に植栽しました。

3期目の親子森林教室は四季を通して体験学習が7回行われ、企画に沿って計画通り進める事が出

来ました。回数を重ねる毎に協会員が子ども達のレベルで“伝える・教える・やらせる”を念頭に置きスキルは向上しています。

また、澄川南小学校の生徒たちが森で学ぶ体験授業は学年別にテーマを持ちながら進められています。今年も多くの子供たちに感動と森の楽しさを体験して貰いました。

6月には(株)かんぼ生命保険から昨年に引き続き3回目の寄付助成を受け、“学びの森の整備事業”としてこの森の保全、安心・安全の森づくりに大変役に立っています。10月のかんぼ生命社員による緑の保全活動は雨天延期となり来年度に持ち越しと成りました。

7月には“土日ボランティアしませんか”のイベントに(株)京セラコミュニケーションズが来てくれました。参加した14名は針葉樹・広葉樹合わせて45本をE-2区に植栽しました。初めての植栽・下草刈り・薪割り体験が次の機会に繋がる事を期待しています。

昨年からはじめた環境林の観察会は6回実施しました。担当になった人はテーマを掲げて散策した事で、今まで気づけなかった森の発見に繋がっています。

新たな試みとして、澄川環境林に生息する昆虫を採取し標本づくりを開始しました。多面対策事業の活動については第三号議案で報告します。

【国有林】

〔野幌森林公園〕機会1回 参加人数9名

石狩森林管理署との第三次5か年計画(2017年4月～2022年3月)がスタートし2年目です。人力で地味なこの地には2005年に広葉樹を112本、2006年に広葉樹815本及び針葉樹875本を植栽しました。14年が経過して多様性を持った森に生長しています。

6月の樹木調査ではNo.9の広葉樹列とNo.10の針葉樹列の胸高直径並びに樹高測定を行いました。この調査結果は2月の石狩地域森林ふれあいセンター主催の「野幌森林再生連絡会」で発表しました。

〔支笏湖復興単独事業地〕機会1回 参加人数14名

支笏湖復興の森(5218林班、1.12ha)の育林活動は協会の単独事業となり2年目となります。7月に行った生長調査では、2007年秋に植栽したトドマツ936本の生存率87.8%、平均樹高1.99m、最高樹高4.0mと順調に生長していることを確認しました。

〔支笏湖復興7-11の森〕機会1回 参加人数14名

セブンイレブンの森(5280林班、1.25ha)の2006年に植栽したトドマツ1,430本は、13年目となり枝打ち、徐間伐の時期となりました。今後の施業については石狩森林管理署と支笏湖復興の森づくりの会に対応していくとの事で当協会の育林管理は終了しました。

〔支笏湖CGC水明郷の森〕機会6回 参加人数91名

水明郷の森(5465林班、17.82ha)づくりは延べ10年目を迎えました。6月、8月には下草刈りを4回行いました。2009年に植栽したトドマツ列(10区)では両サイドに繁茂したササの裾刈りを行い風通しを良くしました。また、2010年と2011年に植栽したトドマツ列(6区)では裾刈りと受光確保のため全面下草刈りを行いました。

生長の遅れているミズナラ、ハルニレ、イタヤカエデ、ヤチダモの広葉樹列(10区)ではウラジオイチゴなどの蔓類の除去のため手鎌によるツボ刈りの後、刈払機で全面刈りを行いました。

通称オッパイ山の人力地味地区(3、4区)は一部ササの繁茂を確認しましたが、植栽したトドマツは自生種と遜色なく生長が確認出来ましたので、自然の力に任せる事にして手を入れませんでした。

2009年にスタートし7年間の植栽活動と育林管理を終えたあと、その後の3年間は広葉樹を中心に生長促進管理を行って来ました。北海道CGCの支援は2018年度をもって終わりました。

〔支笏湖CGC烏柵舞の森〕機会11回 参加人数170名

烏柵舞の森(5334林班、22.72ha)は北海道CGCみどりところの基金との協定事業として2012年にスタートし、植栽と育林管理合わせて7年間の活動は最終年となりました。

5月にはアカエゾマツを対象に植栽年度別の6列を選定して生長調査を実施しました。

人力で地拵えをした地区(1、2区)に植栽した針葉樹、広葉樹は自生種のシラカンバ、シウリザクラ共々生長し森の体裁が整って来ました。

6月、8月、9月に5回の下草刈りを行いました。アカエゾマツの植栽区は、刈払機で両サイドに繁茂したササ刈りと下草刈りを行いました。広葉樹区では手刈り班がツボ刈りをしたあと、刈払機で全面刈りを行いました。全体を見て生長状態はアカエゾマツ、広葉樹とも順調です。

10月の育樹祭にはオイスカ・ユネスコ合わせて48名が参加して21本のアカエゾマツの植栽とシラカンバ間引き施業を行いました。また、作業終了後の森の話は参加した子ども達に好評でした。

来年度からの活動については、北海道CGCみどりところの基金と石狩森林管理署と相談の結果、2014年と2015年に植栽したアカエゾマツ、広葉樹は更なる育林管理が必要と判断して継続する事になりました。

〔支笏湖復興コンサ百年の森〕機会5回 参加人数62名

コンサ百年の森(5460林班、11.63ha)は11年目です。植栽は2008年から2010年に行われました。7月には下草刈り、生長調査、9月には下草刈り及びポット苗整理を行いました。トドマツの標準列における生長調査では、生存率が90%を超え、平均樹高は1.69mとなり、順調に生育しています。しかし、広葉樹は生存率が10%を切り、平均樹高も安定していません。広葉樹はシカによる食害が著しく、10月に枯死状態になった列にトドマツを250本補植しました。

〔支笏湖復興道新ぶんぶんの森〕機会2回 参加人数28名

北海道新聞社のぶんぶんの森づくり(1355林班、7.09ha)は2009年から11年目を迎えました。自然発生したカラマツの稚樹が1m以上に生長したものもありました。7月に下草刈りを2回行いましたが、トドマツと一面のカラマツを残しての下草刈りは大変でした。

胆振東部森林管理署と道新の現地検証では、カラマツを育てるにしてもいづれは間引きが必要になるが、現時点での判断は尚早との事でした。

【教育支援・その他支援】

〔親子森林教室・森しり隊活動〕機会7回 参加人数117名

3年目を迎えた親子森林教室“森しり隊”は、森しり隊員9名（6家族）は4月に開校式（森しり隊員4名）をスタートし、澄川環境林での自然体験学習は4月（森しり隊員7名）6月（7名）7月（6名）10月（8名）2月（7名）3月（8名）の計7回カリキュラムに沿って行いました。保護者は延べ36名が付き添いで参加し、この一年間の延べ人数は83名でした。

学習内容に工夫が見られ、説明担当者が手書きで作ったボードでの説明は森しり隊員にとって解り易く飽きることなく聞いてくれる様になりました。

初めての試みとしてドングリそろばん作りは、子供も親も興味をもって楽しんでくれました。ドングリ拾いに始まりキッド作りの準備では試行錯誤の連続でしたが、来年度はスキルアップして再度挑戦です。また、春夏秋に収集した押し葉は3月の修了式でラミネート加工しマイリーフを作りました。四季で変化する葉っぱの様子を見る事が出来ました。

修了式では子供たちから一年間の活動の感想文に勇気を貰い、そして森しり隊事務局が精魂込めて作った修了盾を手に写真に収まりました。

〔幌南の森〕機会1回 参加人数9名

幌南小学校が国有林藻岩山南斜面で行っている「幌南の森」野外学習の支援として、子どもたちが安全・安心に散策が出来るように、6月に山道の草刈、危険木の処理を行いました。

〔ホームマック支援幼稚園の植栽活動〕機会0回 参加人数0名

3年間続いた支援活動は幼稚園児に適した植栽場所が無いため中止としました。

〔澄川南小学校〕機会8回 参加人数41名

澄川都市環境林での自然体験学習は、2014年から学校の総合的な学習に組み込まれ年間計画に沿って活動支援を行っています。

2年生（62名）は3月に学校で葉っぱの話を行いました。

3年生（71名）は6月に林内散策を行い、9月には16本のマイツリーを選ぶ予定でしたが雨、台風で中止となり、やむなく協会が選んだ推薦木から選んで貰いマイツリーとしました。10月には絵付けをした樹名板をマイツリーに設置しました。2月はスノーシューを履いて動物の足跡を見ながら、雪に覆われたマイツリーを観察しました。

4年生（53名）は5月に昨年選んだマイツリー14本の周長測定を行いました。2月にはマイツリー観察と冬芽の勉強をしました。

6年生は10月に卒業記念樹としてイタヤカエデとナナカマドを植栽しました。

1 森林保護・育成活動（多面対策事業を含む）

上段計画
下段実績

活動地名	面積 (ha)	実施内容	作業内容	回数	延人数	摘要
都市環境林 有明第二 (札幌市 30 林班)	14.00	ササ地還林植栽 針広混交林育林	ササ刈り 地掻並びに播種 山引き苗の植栽	11 11	110 91	
都市環境林 澄川 (札幌市 56 林班)	65.14	澄川環境林基本 計画に基づき巨 木の森を目指す	整理伐、ホダ木キ ノコ栽培、ホタル 生息環境保全	82 90	1,200 1,213	活動拠点基 地多面対策 事業
国有林 野幌森林公園 (42 林班か小班)	1.10	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1 1	10 9	森林監視
国有林支笏湖 復興の森 (5218 林班)	1.12	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1 1	15 14	育林管理継 続
国有林支笏湖 7-11 の森 (5280 林班)	1.25	台風被害地復興 針葉樹育林管理	下草刈り 生育調査	1 1	15 14	森林監視
国有林支笏湖 CGC 水明郷の森 (5456 林班)	17.82	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈 育林管理	6 6	70 91	生育調査継 続
国有林支笏湖 CGC 烏柵舞の森 (5334 林班)	22.72	台風被害地復興 針広混交林植 栽、育林管理	植栽 下草刈り 人力地拵え地区 の整備	11 11	170 170	植栽作業継 続
国有林支笏湖 コンサ百年の森 (5460 林班)	11.63	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	4 5	60 62	育林管理継 続
国有林支笏湖 ぶんぶんの森(1355 林班)	7.09	台風被害地復興 針葉樹育林管理	下草刈り	2 2	30 28	育林管理継 続
その他	エルプラザ、幌南の森、開拓の村、 まちナカ NPO、澄川南小学校			5 5	40 48	
計（重複活動：復興の森、7-11 の森）				124 133	1,720 1,740	

2 教育支援・その他

上段計画
下段実績

場 所		回数	延参 加数	概 要
親子森林教室 “森しり隊”	Lプラザ、澄川環境林	7	120	自然体験学習
		7	117	
幌南小学校自然学習	藻岩山幌南の森	1 1	10 9	遊歩道整備、
道民森づくり フェスタ 2018	野幌森林公園 開拓の村	1 1	10 14	鋸体験、バーニングペン クラフト作り
澄川南小学校	澄川環境林・校内学習	12	60	マイツリー、植菌、木工
		8	41	
計		21	200	
		17	181	

3 内部企画

1. 自主企画		
日程	企画名	人数
5月	理事会・総会(5月10日)	26
8月	納涼会(8月10日)	12
9月	研修旅行(9月17~20日)	18
11月	理事会(11月13日)	9
12月	忘年会(12月4.5日)	18
通年	幹事会等(毎月+臨時)	131
計		214

2. 冬期セミナー他		
日程	企画名	人数
12/12	札幌市防災協会 普通応急手当講習Ⅰ	18
1/18	例会 ：安全講習座学 講演 ：中村康江氏 ユネスコ寺子屋活動	20
2/13	札幌生物多様性フォー ラム(酒井代表発表)	6
2/20	例会 ：2019年度親子森 林教室 講演 ：平川浩文氏 野生動物達の今を知る	21
3/13	例会 ：多面活動と各地の 生長調査 講演 ：宮坂省吾氏 揺れ動く台地-札幌は 千島の変形フロント-	20
計	参加機会・5回	85

第二号議案 2019年度事業計画

2019年度事業計画

(2019年4月1日～2020年3月31日)

今まで16年間の活動結果を踏まえながら森林の保全と次世代に対する啓発活動とホタル保全など生物多様性に貢献出来るよう以下の計画を実施して行きます。

【札幌市都市環境林】

〔有明第二都市環境林〕機会10回 参加人数90名

活動内容は第三号議案で報告します。

〔澄川都市環境林〕機会96回 参加人数1,300名

『澄川環境林基本計画』の第4期5カ年をベースに2018年度に引き続き育林活動と教育活動を継続します。その内容はE-7,8区の整理伐（枯死・枯損木、風倒木、傾斜木、蔓に覆われた中折木）をして行きます。また、B-5,7区の整理伐と下草刈りに加えD-3区では道路整備を予定します。

親子森林教室、澄川南小学校の教育支援を積極的に行い、多様な生き物が棲み、それを子供たちと観察できる安全な森づくりに努めていきます。

【国有林】

〔野幌森林公園〕機会1回 参加人数10名

石狩森林管理署と新たに2017年に5か年計画の協定が結ばれました。これまでの生育状況は順調であり、下草刈りの必要性も少なくなってきましたが、今後の生育状態を見守りたいとの会員の要望もありますので、年1回の調査・確認作業を行います。

〔支笏湖復興単独事業地〕機会1回 参加人数15名

単独事業として実施します。2007年に植栽して12年目となりトドマツの樹高が周囲の草丈を越えてきたことから、状況を見ながら植栽列の下草刈りを判断して行きます。活動地への作業道の草刈りと生長調査は継続します。

〔支笏湖復興7-11の森〕機会1回 参加人数15名

支笏湖5280林班では2006年に植栽したトドマツが、13年目となり樹高は5mを越えました。支笏湖復興の森委員会から今後の枝切、除伐等の施業は造林業者の元で行うとの事です。

〔支笏湖CGC水明郷の森〕機会4回 参加人数60名

水明郷の森（5465林班）17.82haは、今年度から多面事業対策で対応する事になりました。活動内容は第三号議案で報告します。

〔支笏湖 CGC 烏柵舞の森〕 機会 10 回 参加人数 150 名

2012年度からスタートした烏柵舞の森（5334林班）22.72haで今年から北海道CGCみどりところの基金の支援で育林活動を継続する事になりました。

その内容は、2014年・2015年に植栽したアカエゾマツ、広葉樹の育林管理が中心となります。10月にはオイスカ・ユネスコの育樹祭として8区の自然発生列でシラカンバの間引き施業を行います。

〔支笏湖復興コンサ百年の森〕 機会 4 回 参加人数 60 名

コンサ百年の森（5460林班）11.63haは協会単独事業として3年目を迎えます。引き続き下草刈り、生長調査、補植を継続します。

〔支笏湖復興道新ぶんぶんの森〕 機会 2 回 参加人数 30 名

北海道新聞ぶんぶんの森（1355林班）7.09haにおいて新たに結んだ北海道新聞社との協定は最終年となります。植栽したトドマツと実生したカラマツとの共生を保ちながら、7月に2回下草刈りを行います。

【教育支援・その他支援】

〔親子森林教室・森しり隊活動〕 機会 7 回 参加人数 120 名

親子森林教室は、4年目となり2019年4月から森しり隊員14名（継続5名、新規9名）10家族の子供たちと保護者の参加が決まりました。4月7日のエルプラザでの開校式のあと、4月下旬から来年3月までの間6回に亘って澄川都市環境林でカリキュラムに沿って森林体験活動を実施していきます。新しい事に挑戦をしながら1年間を通して楽しい活動になるようスタッフ一同張り切っています。

〔幌南の森〕 機会 1 回 参加人数 10 名

幌南小学校4年生の藻岩山での自然体験学習は10月に北海道林業技師会と協働で支援して行きます。事前に作業道周辺の安全確認作業を行います。

〔澄川南小学校〕 機会 12 回 参加人数 60 名

一年間を通して澄川都市環境林をベースに子どもたちに環境学習の支援をして行きます。2年生はスノーシュー体験と冬芽観察、3年生はマイツリー選定と樹名板を取付けます。選定場所としては樹木園の北側を整備して行きます。4年生はキノコ植菌とスノーシューを履いて自然観察の勉強をします。5年生はネームプレート作り、6年生は卒業記念樹の植栽を計画しています。

1 森林保全・育成活動（多面対策事業を含む）

活動地名	面積 (ha)	実施内容	作業内容	回数	延人数	摘要
都市環境林 有明第二 (札幌市30林班)	14.00	ササ地還林植栽 針広混交林育林	ササ刈り 地掻並びに播種 山引き苗の植栽	10	90	
都市環境林 澄川 (札幌市56林班)	65.14	澄川環境林基本 計画に基づき巨 木の森を目指す	除間伐、ホダ木キ ノコ栽培、ホタル 生息環境保全	96	1,300	活動拠点 基地多面 対策事業
国有林 野幌森林公園 (42林班か小班)	1.10	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1	10	森林監視
国有林支笏湖 復興の森 (5218林班)	1.12	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1	15	育林管理 継続
国有林支笏湖 7-11の森 (5280林班)	1.25	台風被害地復興 針葉樹育林管理	下草刈り 生育調査	1	15	森林監視
国有林支笏湖 CGC水明郷の森 (5456林班)	17.82	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈 育林管理	4	60	生育調査 継続
国有林支笏湖 CGC鳥柵舞の森 (5334林班)	22.72	台風被害地復興 針広混交林植栽、 育林管理	植栽 下草刈り 人力地拵え地区 の整備	11	165	植栽作業 継続
国有林支笏湖 コンサ百年の森 (5460林班)	11.63	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	2	60	育林管理 継続
国有林支笏湖 ぶんぶんの森 (1355林班)	7.09	台風被害地復興 針葉樹育林管理	下草刈り	2	30	育林管理 継続
その他	エルプラザ、幌南の森、紅桜公園、開拓の村、 まちナカNPO			5	50	
計（重複活動：水明、コンサの森、7-11の森）				133	1,795	

3 教育支援・その他

場 所		回数	延参加数	概 要
親子森林教室 “森しり隊”	Lプラザ、澄川環境林	7	120	自然体験学習
幌南小学校自然学習	藻岩山幌南の森	1	10	遊歩道整備、
道民森づくり フェスタ 2018	野幌森林公園 開拓の村	1	15	ワークショップ (9月8日実施)
澄川南小学校	澄川環境林・校内学習 紅桜公園	15	75	マイツリー、ホダ木、木工
計		24	220	

4 内部企画

1. 自主企画		
日程	企画名	人数
5月	理事会・総会(5月9日)	30
8月	納涼会(8月7日)	15
9月	研修旅行(9月25~27日)	25
11月	理事会(11月)	12
12月	忘年会(12月4.5日)	20
	幹事会等(毎月+臨時)	140
計		242

2. 冬期セミナー		
日程	企画名	人数
12月	会員例会・セミナー1	20
1月	会員例会・セミナー2	20
2月	会員例会・セミナー3	20
3月	会員例会・セミナー4	20
計	参加機会・4回	80

第三号議案 「森ボラ協議会」に係る 2018 年度事業報告

2018 年度事業報告

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

当事業の 6 年目に当る 2018 年度は、下記の 2 地区での活動が対象となりました。2018 年度の地区毎の活動内容を報告します。

【澄川都市環境林】機会 48 回、参加人数 670 名（以下、機会及び参加人数は第一号議案と重複）

札幌市 56 林班 1～7、9 小班面積 65.14ha では、「澄川環境林基本計画」と整合を図りながら今までの活動を継続しました。この事業では整理伐、チップ作業、地拵え、植栽、木道改築、遊歩道・作業道整備、動物食害防止網設置、見回り等を行いました。

教育・研修活動タイプでは澄川南小学校生徒および協賛企業関係者を対象として、林内観察、植樹、キノコ植菌、葉っぱの話などの森林教室等を 7 回行いました。

2015 年 9 月から始めた 1 回目の標準木調査は、24 種 361 本の樹木の胸高周長、樹高、経緯度などを調査して、2018 年 5 月末に終了しました。調査の結果はホームページに掲載しています。

安全講習等では 10 月に澄川にてチェーンソー取扱安全講習を多面事務局の主催で行われ、当会からは 11 名、他団体 4 名の参加を得て実施されました。1 月には安全講習座学および伐木作業のチェーンソー、チルホール操作の安全講習実技を行いました。

交付金の効果を数値で示すために、2017 年度からモニタリング調査を実施しています。当該地区では B-3 区に 1 カ所、E-4 区に 2 カ所の他 E-5 区に 1 カ所の計 4 カ所に 10m×10m の調査区を設定して整備前、整備後の毎木調査を行い、樹間の混み具合を表す相対幹距比や胸高断面積を算出しました。樹木が生育していないギャップ地では、植樹を行い高木になる樹木の成立本数、樹高を計測しました。この調査は今後も継続して行います。

【有明第二都市環境林】機会 9 回、参加人数 81 名

札幌市 30 林班 9、10、12～16、22、23 小班面積 14.0ha では、ギャップ地の育林活動、補植、作業道整備を行いました。2016 年から整備を始めた南東高台部では 2018 年 9 月の風台風により、倒木・傾斜木・中折れの被害が多数見られました。2019 年度以降にそれらの処理が必要になります。

動物による食害が目立つギャップ地では、10 月に針葉樹 10 本、ニトリ北海道応援基金によるエゾヤマザクラ 3 本を含む広葉樹 63 本の補植を行いました。2017 年に設置した試験用シカ食害対策用の網の補強と新たに 12.5m×12.5m の動物食害防止網 2 カ所の設置を行いました。また、その近くには苗を個別に囲う網も設置しましたので、今後効果を比較しながら改良を重ねる予定です。

避難小屋前の標準地における生長調査では 2016 年には 16 種 432 本、2017 年には 10 種 257 本、2018 年には 11 種 192 本を確認しました。少なくなりつつありますが ha 当りの本数は依然として 25,000 本を越え高い密度を維持しています。今後も継続して植生の推移を見守ります。

当該地区のモニタリング調査は、2 年目調査として南東高台部とギャップ地の 2 カ所で行いました。南東高台部では樹木の込み具合を表す相対幹距比および胸高断面積を計測し、ギャップ地では苗の本数、樹高を測りました。

「森ボラ協議会」に係る 2019 年度事業計画

2019 年度事業計画

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

当事業の 7 年目に当る 2019 年度は、下記の 3 地区で今までの活動内容を継続します。

【澄川都市環境林】

札幌市 56 林班 1～7、9 小班面積 65.14 ha では、制定された「2018 澄川環境林基本計画」と整合を計りながら今までの活動を継続して行きます。この事業では整理伐、遊歩道・作業道整備、木道整備、地拵え、植樹、見回り、生長調査等を行います。

標準地調査では 20m×20m の区域を E-7、D-5 区に新たに設置して樹種同定、胸高周長・樹高測定を継続します。また、モニタリング調査は 2019 年度冬季整理伐を予定している B-8、E-7 区に新たに設置し、既存の箇所と合わせて観測を継続します。

【有明第二都市環境林】

札幌市 30 林班 9、10、12～16、22、23 小班面積 14.0 ha では、今までのギャップ地のササ刈り、地拵え、植栽、歩道・作業道整備、風倒木・枯損木の整理、下草刈り、見回り等を継続して行います。

南東側の台地部は 2016 年から実施している笹刈り、整理伐の状況及び稚樹の発生状況を観察しながら針広混交林を目指して行きます。しかし、2018 年 9 月の風台風による倒木、傾斜木、中折れ木が多数発生したのでその処理が課題になります。我々の出来る範囲で無理せずに対応する計画です。

ギャップ地に設置した動物食害対策網は、設置状況、苗の生長、食害などを観察しながら改修・改良を加えて行きます。

モニタリング調査及び避難小屋前の生長調査は引き続き継続します。

【支笏湖水明郷】

千歳市 5456 林班 は林小班 面積 17.82ha では、今年度から多面事業により笹刈り、下草刈り、補植などの育林活動を行って行きます。ここは当会が 2009 年から植栽、下草刈り等の技術支援を行って行きましたが、シカ、ウサギ、ネズミなどの食害が著しく、特に広葉樹の生長が芳しくありません。今年度からそれらの生長を考慮しながら針葉樹の補植を行い、健全な針広混交林を目指して行きます。

第四号議案 2019年度理事及び監事選任の件

特定非営利活動法人

北海道森林ボランティア協会理事名簿

(就任期間 2018年4月1日～2020年3月31日)

(順不同・敬称略)

役職名	氏名	住所 又は 居所(身分)	留任	新任
理事長	横山 清	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
専務理事	酒井和彦	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
常務理事	高野 豊	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
常務理事	虎谷利一	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
理事 (事務長)	市山勝一郎	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
理事	山本 諭	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
理事	我満嘉明	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
理事	荻田雄輔	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
理事	樞棒典夫	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
理事	大窪健一	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
理事	清澤通俊	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8		○
理事数 11名				
監事	谷口哲也	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8		○
監事	安達寿夫	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8		○
監事	佐野礼子	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8	○	
監事 3名				
顧問	堀 達也	北海道森と緑の会理事長	○	
顧問	石城謙吉	北海道大学名誉教授、 元北海道大学演習林長	○	
顧問	湊 克之	元北海道大学助教授	○	
顧問	松田 彊	北海道大学名誉教授、 元北海道大学演習林長	○	
顧問数 4名				

理事退任	西野悌三	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8		
監事退任	伊東 孝	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8		
監事退任	須田 守	札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8		

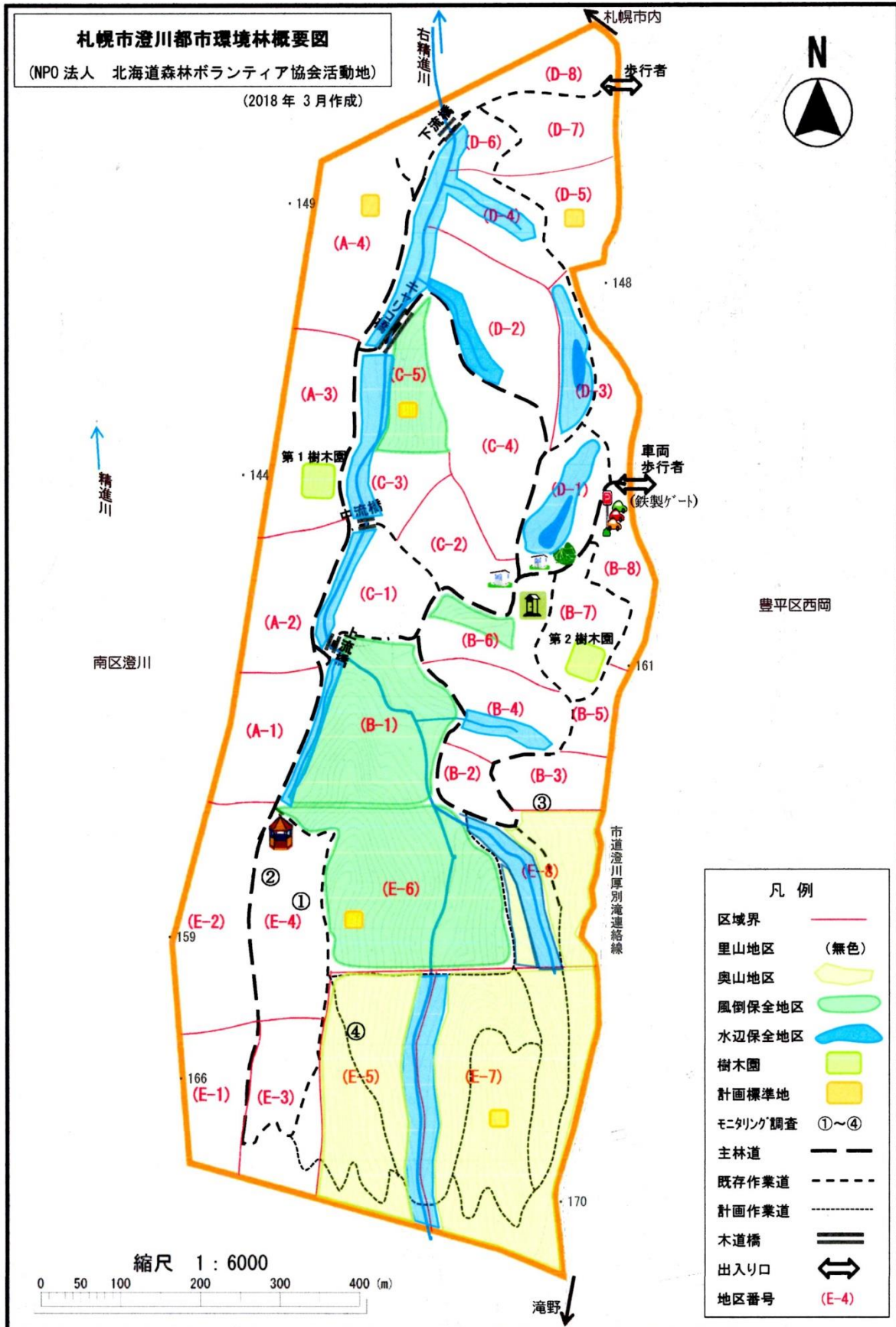
特定非営利活動法人 北海道森林ボランティア協会

幹事名簿（2019年度）

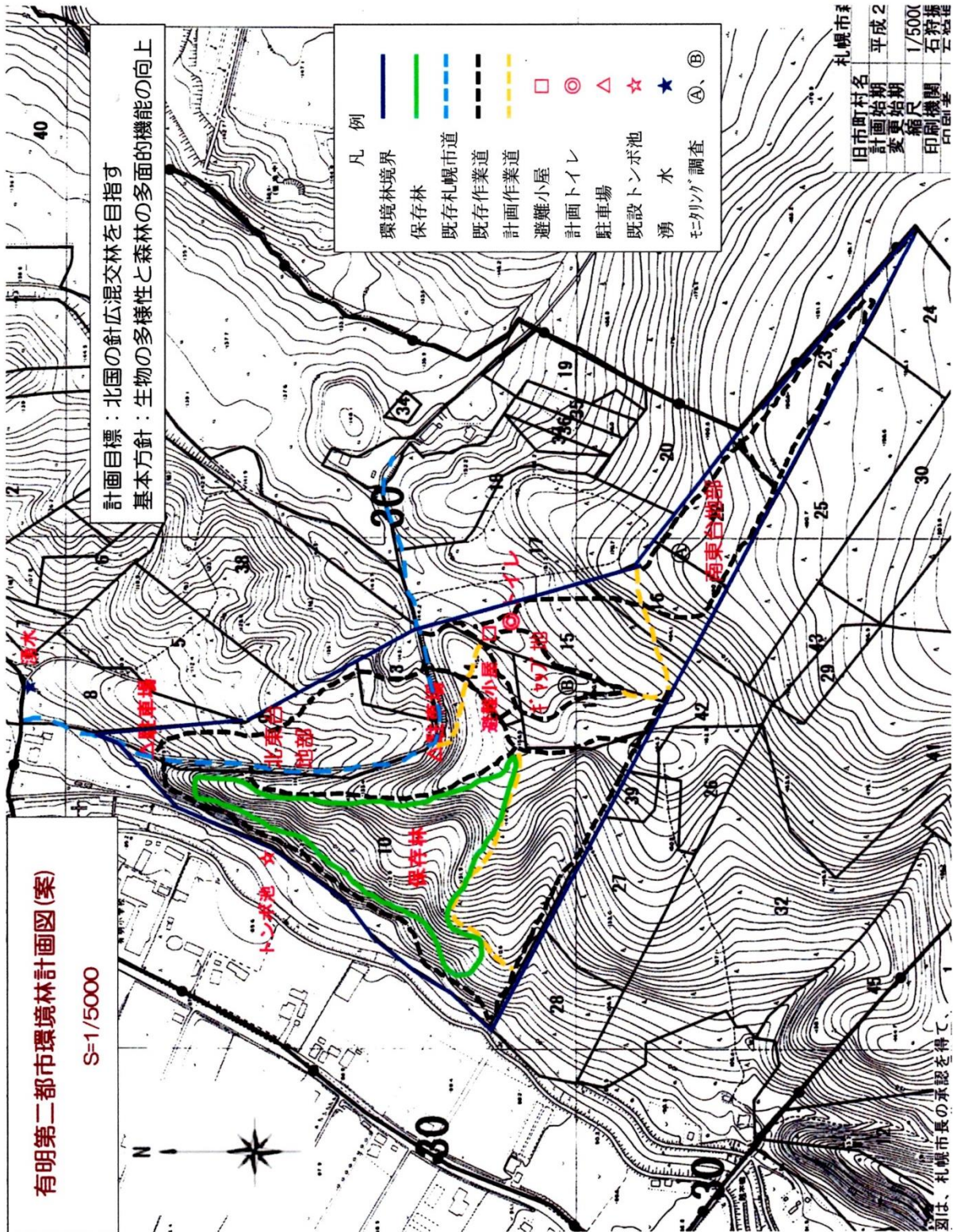
（順不同・敬称略）

幹事	氏名	就任期間	留任	新任
代表幹事	樞棒典夫	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	○	
副代表幹事	清澤通俊	同	○	
幹事 (事務局長)	市山勝一郎	同	○	
幹事	荻田雄輔	同	○	
幹事	佐野礼子	同	○	
幹事	矢澤 滋	同	○	
幹事	釣井市朗	同	○	
幹事	大窪健一	同	○	
幹事	加藤秀雄	同	○	
幹事	三橋次郎	同		○
幹事	矢野眞仁	同		○
合計	11名			

退任	酒井和彦			
退任	高野 豊			
退任	西野悌三			



澄川都市環境林概要図



有明第二都市環境林計画図